



2018年4月6日 第4号

# たてくろジオパークだより

■特別寄稿 黒部市長 堀内 康男

この冬は北陸地方を始め日本各地で記録的な大雪となり、住民の安全と暮らしを脅かしました。大雪の要因には、シベリア寒気団や赤道付近の海水温、地球を回る気流など地球規模の複雑な現象があるといわれていますが、正に私たちが地球の営みの上で生活しているのだと実感しました。

立山黒部の地域は山から富山湾まで4kmの高低差があり、豊かな水循環と動植物が息づき、私たちに恵みをもたらしてくれています。その恵みを利用し製造業、農業、漁業、観光産業などの経済活動が生まれ、私たちの暮らしがあります。時間の経過とともに技術の進歩やトレンドの変化により経済活動も変化していくことと思いますが、ここに生活する私たちや次代を担う子供たちが立山黒部地域について学び、郷土愛を育むことにより、地域社会や資源が将来にわたって守られていくと考えています。

黒部市では、生涯学習、博物館事業、学校教育や公民館活動などでジオパーク活動に取り組んでいます。立山黒部ジオパーク協会の活動が行政区域を越えて自治体や民間団体等の取組を繋げ、新たなサービスの創造やふるさと学習の充実をもたらすことを期待します。一步一步進めていく活動が、やがて大きな流れとなって、この地域の持続的な発展を推進していくことを念願しています。

## ■ツアー ジオパーク散歩（ご報告）



下山展望台



大岩山日石寺



本宮砂防堰堤



大日公園

3月に9市町村ごとの現地集合現地解散の「ジオパーク散歩」を12回実施しました。ツアーには、延べ149名の方が参加しました。一部のツアーでは、ケーブルテレビや新聞社の取材もありました。

## ■大地を巡るリレー講演会（ご報告）



2月24日（土）、富山市のサンシップとやまにて、第10回立山黒部ジオパーク・大地を巡るリレー講演会が開催されました。今回の講師は、新たにジオパークの拠点施設に加わった、富山県[立山博物館]の加藤基樹学芸員でした。講演では「立山信仰と自然景観」というテーマで、ジオと文化との繋がりについてお話しいただきました。当日は、50名の方にご参加いただき盛況でした。



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



## ■ 沢スギお助け隊のスンバ拾い（ご報告）



3月18日（日）に入善町の沢スギお助け隊が毎年実施している杉葉（スンバ）拾いに参加しました。今年は100名を超える方が参加し、敷地内の清掃活動に汗を流していました。国の天然記念物に指定されている杉沢の沢スギですが、昨年10月の台風により被害を受け、遊歩道は立ち入り禁止となっています。現在復旧に向けて準備が進んでおり、4月中に開園される予定です。

## ■ 黒部市地域観光ギャラリーのリニューアルオープン（ご報告）

黒部市地域観光ギャラリーの展示空間が、ジオパークの色を濃くしてリニューアルされました。2階には、立山黒部ジオパークの紹介コーナーが拡充され、立体感のある顔だしパネル展示スペース、電源設備のある休憩スペースが新設されました。また地下には、キッズスペースが設けられました。ますます楽しめる黒部市地域観光ギャラリーに、足を運んでみてはいかがでしょうか。



## ■ 雪国ジオパークフォーラム（ご報告）



3月22日（木）、23日（金）に、新潟県と長野県にまたがる苗場山麓ジオパークにて、第3回雪国ジオパークフォーラムが開催され山岡専門員がパネラーとして参加しました。フォーラムでは「ジオパークとアクティビティとの連携」について討論が行われ、アクティビティを入り口としてジオパークを知ってもらう等、連携の重要性について意見が出されました。23日には、スノーシュージオツアーが開催されました。

## ■ うなジオにジオガイドが常駐（ご案内）



地铁の宇奈月温泉駅近くの、立山黒部ジオパークの拠点施設 わくわく広場「うなジオ」では、4月下旬から11月中旬までの土日祝日に、ジオガイドが常駐します。施設内の解説や周辺のガイドを行います。ぜひお立ち寄りください。  
※なお、周辺のガイド中で不在の場合はご容赦ください。

## ■ 魚津埋没林博物館リニューアルオープン（ご案内）



魚津埋没林博物館が4月14日（土）に新装オープンします。蜃気楼ライブ映像を見ながらおいしいスイーツを食べられるカフェや、富山県産の木のおもちゃで遊べるキッズスペースが加わります。新しい魚津埋没林博物館にぜひお越しください。



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



■ トロッコ電車と関電竖坑エレベーターで行く！ 黒部峡谷パノラマ展望ツアー (ご案内)

**トロッコ電車と関電竖坑エレベーターで行く 黒部峡谷パノラマ展望ツアー**  
未知の秘境

設定期間 2018年6月1日～11月12日の金・土・日・月

黒部峡谷トロッコ電車鉄道「樺平駅」の先、一般のお客さまは立ち入ることができない関西電力工事用区域内の「トンネル」「竖坑エレベーター」で、周辺の白馬鍾ヶ岳、唐松岳などを間近に展望できる特別企画です。ぜひお誘い合わせの上ご応募ください。

ご旅行代金(おひとり様) 4日前までに要予約

大人 6,000円  
小学生 4,000円

黒部峡谷トロッコ電車 特別企画参加費

集合場所	送迎バス	所要時間	バス	乗車料
富山駅前	富山駅前	1時間	1台	1,000円
黒部峡谷	黒部峡谷	1時間	1台	1,000円
黒部峡谷	黒部峡谷	1時間	1台	1,000円
黒部峡谷	黒部峡谷	1時間	1台	1,000円

一般のお客様は立ち入ることができない関西電力工事用区域内の「専用列車」「トンネル」「竖坑エレベーター」で、周辺の白馬鍾ヶ岳、唐松岳などを間近に展望できる特別企画です。ぜひお誘い合わせの上ご応募ください。

設定期間：2018年6月1日～11月12日 の金・土・日・月

受付人数：1～15名 最少催行人数：1名

料金：(大人) 6,000円、(小学生) 4,000円

対象：小学4年生以上 所要時間：約6時間

旅行代金に含まれるもの：黒部峡谷鉄道往復乗車料金(宇奈月⇄樺平)

特別企画参加費

※お申し込み・詳細問い合わせは、下記のいずれかをお願いします。

一般社団法人 黒部・宇奈月温泉観光局 TEL：0765-57-2850

株式会社 観光販売システムズ TEL：050-3775-4727

## たてくろ 見どころ紹介コーナー

### 深海からやってくる碧い灯火 ホタルイカ

ホタルイカが碧い光を放ち海岸に打ち上げられる風景は、立山黒部ジオパークの春の風物詩です。富山湾の中でも、富山市から魚津市にかけての海底地形は急に落ち込んでおり、岸から1kmほど沖に出ると水深200mに達します。深海に生息するホタルイカは、春になると水深200mの海底付近に集まり、夜になると海面近くに浮上して産卵を行います。その際、月明かりがないと方向感覚を失い、潮に流された一部が海岸に打ち上げられると考えられています。山に降った雨や雪は、急流河川や海底湧水となって、陸の豊富な養分を富山湾に運びます。この栄養が海のプランクトンを育み、富山湾の豊富な魚介類を育てているのです。美味しいホタルイカやシロエビは、地形がもたらしたジオの恵みなのです。



ホタルイカの身投げ

立山黒部ジオパーク協会 事務局 〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

Tel 076-431-2089

e-mail info@tatekuro.jp

Fax 076-482-3204

http://tatekuro.jp/

http://facebook.com/tatekuro



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

